

広報 うねり

第 75 号

発行所 黒崎町役場
印刷所 共立印刷所



《町の動き》

5月末日現在	(前月比)
人口	18,601(+19)
男子	9,121(+6)
女子	9,480(+13)
世帯	4,480(+16)
4月末日	7
出生	36
死亡	53
婚姻	

黒崎高校開校

喜びにわく 生徒・住民

六月十日、黒崎高校体育館において県知事を始めとする、多数の来賓を迎え、遅ればせながら黒崎高校の開校式が行われた。

ご存知のように、去る四十八年頃から「黒崎町に独立した普通高校を誘致しよう」と、住民からの強い要望が導火線となり、町としても再三、再四にわたる陳情、請願が受諾され、四十九年一月、県教育委員会で、黒崎高の設置を決定、五十年四月定例県議会において、新校舎建設の予算が議決された。

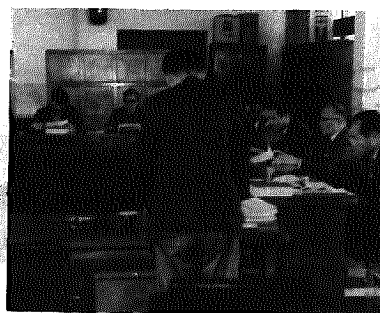
現在プレハブ教室で不便をかこいながら勉学にはげんでいるわけで、早期の建設が待たれている。

開校式には生徒四九八名を含む父兄や隣接の高校長、町内の役職員二五〇名が出席し、おたがいに開校を喜びあつた。また、生徒を代表して那須野幸子さん(四年)は「新しく誕生したこの学校をみんな大事に育てていきたい」と喜びのこぼすのを、式は正后終了した。

新任議員が勉強会

去る四月二十七日執行された黒崎町議会議員選挙の結果、一万二千有権者の信任を得て当選された二六名の議員の内二名が新任議員として初当選され、今後の活躍が期待されますが、六月定例議会を前に、議会活動の参考にするため、五月二十一日〜二十四日までの四日間議場において研修会が行われた。研修内容は議会運営のルール、会議規則、委員会条例及び五十年定例一般会計予算・特別会計予算の内容等について勉強を行い、会議規則、委員会条例の細部について質問が出、特に予算関係については、予定時間を超過し、午後

五時過ぎまで熱心な質問や討論が交わされ、今後の新任議員の活躍が期待される。



六月歌会

風荒き日にわが酔ける春菊の種ごとく片寄り芽吹く
ほうれん草夏大根を蒔き終えて青立て、降る雨をよるこぶ
嫁がせて七年目に漸くに初孫抱きて庭下歩きぬ
みどり子の雛丸の頃に吸はせんと西瓜の苗に風よけ作る
明くて広き新家に越し住めば掃箒きし如のびて突らん
長閑なる唐丸に次ぎ映の鷺鳴きて五月晴来る
酔ひさめの水を飲まむと起き出づる床につまぎたらを踏みぬ
吾が住居郊外近とした、めぬ蛙鳴く田の続きにあれば
三十三回忌の経あげられる祭席の亡兄の遺影は黄ばみて若き
ドライヤーの暖き風に当てられて美容院に吾れの居眠る
水害の跡は今も新緑の郡辺田に珊瑚や蟹の鳴く
水害のこと聞きて兎も感傷舞にうづきの花を添えておろがむ
春の雲うこがぬ下をへりコブラーカラー鯉やかに方向変へぬ
白き襟止まりし如くあまた咲く菫より爽になりつつ

- 成海 静
- 泉井 ヨ子
- 柏 直樹地
- 酒井 庄平
- 青木 きい
- 西潟たみ子
- 小林 弘